



2009.8.2 e

### ヤシャブシ(夜叉五倍子)

カバノキ科 ハンノキ属  
落葉小高木 雌雄同株

この森に多く見られる。  
果実はタンニンが多いので五倍子、表面がでこぼこしているのが夜叉のようにみにくい顔ということで、夜叉五倍子と名づけられた。



今年の果実 2010.6.22 e



去年の果実 2007.8.4 e

果実を染料として使う。



2011.4.20 e

### オノエヤナギ(尾上柳)

ヤナギ科 ヤナギ属  
落葉小高木 雌雄異株



2009.8.2 e

名は山の上(尾の上)に生えるヤナギという意味。



2011.10.12 e

### ウリカエデ(瓜楓)

カエデ科 カエデ属  
落葉小高木 雌雄異株

枝の皮がウリのような緑色をしている。



68

この森にはウリハダカエデ(⇒125)もある。

## 樹木(小高木)



2011.4.16 e

### カラコギカエデ(鹿子木楓)

カエデ科 カエデ属  
落葉小高木 雌雄同株

同一花序に雄花と両性花が混在する。

樹皮がはげ落ちて鹿の子まだらになるところから、「鹿の子木カエデ」がなまってこの名になった。



花 2011.6.10 e



若い果実 2010.6.22 e



2011.4.21 e

### アブラチャン(油漑青)

クスノキ科 シロモジ属  
落葉小高木 雌雄異株

この森の沢筋に多く生える。

実や樹皮に油を多く含むことからこの名がついた。漑青(チャン)とはコールタールなど油を含む粘質物のこと。

実から油を絞り灯に使った。



2009.8.2 e



若葉 2010.6.22 e



2011.6.28 e

### ダンコウバイ(壇香梅)

クスノキ科 クロモジ属  
落葉小高木 雌雄異株

葉は広い卵形で、浅裂するもの  
としないものがある。



2009.7.5 e

★e 冬枯れの森でダンコウバ  
イの黄色の花は、春を感じます。



66

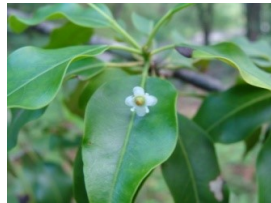


2009.12.9 e

### ソヨゴ(冬青)

モチノキ科 モチノキ属  
常緑小高木 雌雄異株

堅い葉が風に吹かれてさやさや  
と音を立て「そよぐ」からこの名  
がつく。  
この森では、他の木が落葉してか  
らソヨゴの緑が目立つ。



雌花 2011.7.5 e



果実 2010.11.20 e

諏訪地方ではサカキと呼び  
神事に使う。

枝葉を草木染に使用し、薄紅  
色が出る。

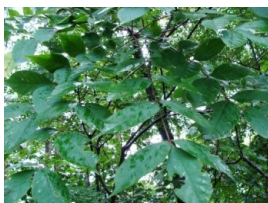
## 樹木(小高木)



2010.6.22 e

### ヤマウルシ(山漆)

ウルシ科 ウルシ属  
落葉小高木 雌雄異株 **注**



2009.8.2 e

葉軸に翼(軸にヒレ状の帯)がない。翼があるヌルデと区別できる。木に触ると**かぶれる**。



2011.11.1 e

### ヌルデ(白膠木)

ウルシ科 ウルシ属  
落葉小高木 雌雄異株 **注**

葉軸に翼(軸にヒレ状の帯)があり、ウルシと区別できる。

名は傷つけたときに出る白い汁を塗り物に使用することから。ウルシ科のなかでは毒性が強くないが、**かぶれる**人もいる。

🍃ヌルデの若芽や若葉などにヌルデシロアブラムシが寄生してできる虫こぶを乾燥させたものを五倍子(ごばいし)と呼びお歯黒、染料に使われる。

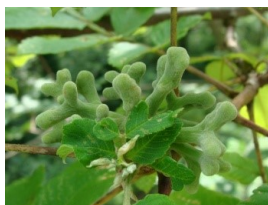
**虫こぶ(虫瘤)**とは、植物の内部に昆虫が卵を産み付けることによって、植物組織が異常な発達を起こしてできるこぶ状の突起のこと。



2009.8.2 e



果実 2008.9.28 e



虫こぶ 2010.8.20 e



2011.5.5 e

**ズミ(酢実) コナシ(小梨)  
コリンゴ(小林檜)**

バラ科 リンゴ属  
落葉小高木



2011.8.17 e

新梢に深い切れ込みがある葉が多い。



71



2011.10.7 e

**カマツカ(鎌柄)  
ウシコロシ(牛殺し)**

バラ科 カマツカ属  
落葉小高木

木が堅く、鎌の柄に使われたことからこの名がつく。

別名のウシコロシは、牛の鼻環に使われたことかららしい。



葉・果実 2011.10.7 e



束状の葉 2011.10.7 e

端枝に数枚の葉が束状につくのが特徴。